

2013 冬 かぐや

メインピック

高段位に挑む！

六・七段位に合格した
女性たち



女性会員のみなさま、一人ひとりに直接お届けします。

六段位の馬場朝子さん(千葉県)

七段位の田島節子さん(群馬県)

[メイントピック]

高段位に挑む!

六・七段位に合格した女性たち

狭き門と言われる高段位審査会。平成24年度に公認六段位・七段位に合格された女性の中から、田島節子さんと馬場朝子さんを取材し、合格までのエピソードをうかがいました。指導や育児の傍ら工夫と努力を積み重ねる姿は、まさに「パワフル」な女性でした!

——審査当日を振り返ってみて、いかがでしたか。

田島節子さんは東京都出身。高校2年生で日本空手道道場会遠志館(東京都、馬場良雄・総師範)に入門し、団体やナショナルチームで活躍。結婚後は群馬に引っ越し、空手から離れた時期がありました。が、「ママ友達」から頼まれ、子どもたちに空手を教え始めたことがきっかけで再開。定期的に指導もするようになりました。

●七段位合格 田島節子さん

全日本空手道連盟公認段位の審査会は、初段から三段が都道府県、四段と五段が各地区で開催されています(※)。「高段位」と呼ばれる六段位以上の審査会は、中央競技団体(全空連)によって、年1回開催されています。六段位は筆記試験と指定形および得意形の演武が審査項目となっており、昨年12月に実施された平成24年度審査会には148名が挑戦し、19名が合格しました(うち女性は4名)。一方、七段位は論文と得意形ふたつの演武が課題で、39名が受審、7名が合格しました(女性1名)。この合格率を見るだけでも、高段位取得がいかに「狭き門」であるか、想像できると思います。

●高段位を目指す女性たち

田島 七段位は、初めての挑戦でした。六段位は6年前に、2回目の受審で取得しました。今回は審査1週間前に突然腰が痛くなり、歩くのもままならなかったんです。接骨院へ通い詰め、当日は少し痛みも治まって、なんとか動ける状態でした。実技審査では、前の方が演武している時に、審査員の先生方をじっと見つめ、「この先生方に審査していただくんだな」という覚悟をして臨みました。やっつい最中は無心といいますか、身体が自然に動いている感じでしたね。——審査のために、どのような練習をされたのですか。田島 本格的に準備を始めたのは、審査会の1年前です。形の練習時間は1日30〜40分までと決めていました。過去に無理がたたって身体を痛めた経験があるので、1年間続けられる練習時間を考えたところ、1日40分までという結論に至ったんです。その代わり、その間はスピードや力を出して練習しました。私は実技審査でジオンとエンピを使いました。どちらも指定形ですので、教本やビデオだけでなく、全空連主催の講習会に参加して、大切なポイントをご指導いただきました。また、月2回ペースで出身道場の遠志館へ帰り、先生に指導していただきました。ただ、今の住まいは群馬ですので、普段は自主練習です。自分ひとりで黙々と練習していると、どうしても「自己流」

※初段〜五段位は、実業団など全空連傘下の競技団体においても審査会が開催されています。

コラム

久しぶりの「かぐや」

実に2年ぶりの「かぐや」発行となりました。みなさま、お元気でしたか?

この2年間で、空手道の世界でもいろいろなことが変化しましたが、今もっともホットな話題は「オリンピック」だと思います。2012年のロンドンオリンピックでは、日本選手団が全身全霊で競技する姿に日本中が感動しました。同年11月にはフランス・パリ市で第21回世界空手道選手権大会が開催され、日本のメダル獲得数は地元フランスに次ぐ2位。日本の形演武には、地元観客すら拍手を送って感動を表しました。

選手の勇姿が多くの人々の心突き動かす光景に、私たちは改めて「空手道っていいな」と感じます。そして、世界5大陸185の国と地域に広まった空手道は、今「オリンピック」を目指しています。今年9月に開催される国際オリンピック委員会総会では、2020年オリンピックの開催地と、新たな競技種目が決まります。これに向けて全日本空手道連盟は、オリンピックの東京招致と合わせ、全力でPR活動を続けています。

今回「かぐや」では、難関と言われる高段位審査会に合格した女性たち、全国審判員として活躍する女性を取材しました。オリンピックに関する話題も盛り込んでいます。「かぐや」ならではの情報発信も健在。これまで通り、全空連女性会員(成年)のみみなさま一人ひとりに直接お届けしています。これからも「かぐや」をよろしく願っています。



〈今号の表紙〉
メイントピックに登場・高段位合格者の女性たち
公認七段位 田島節子さん
公認六段位 馬場朝子さん

contents

- 03 【メイントピック】
高段位に挑む!
六・七段位に合格した女性たち
- 06 【オリンピック情報】
空手道、目指せオリンピック!!
- 08 【クローズアップ】
全国組手審判員Aランク 三鶯直子さん
- 10 【JKF情報】
段位・称号・審判員・指導者データ
- 12 【女性とヒストリー】
歴史に残る女性空手家 松村ツル
- 14 【座談会】
スタッフ座談会

staff

女性のための空手道情報誌
かぐや 2013 冬号

◆◆◆

〈発行〉
公益財団法人 全日本空手道連盟
〒135-8538
東京都江東区辰巳1-1-20
日本空手道会館
TEL: 03-5534-1951
FAX: 03-5534-1952

〈編集スタッフ〉
喜島智香子 三村由紀 若井敦子 島田博江

〈スタッフアドバイザー〉
日下修次

〈編集制作〉
株式会社チャンプ
〒166-0003
東京都杉並区高円寺南4-19-3
総和第二ビル2階
TEL: 03-3315-5051
FAX: 03-3315-1831

contact

「かぐや」では、みなさまからのメールをお待ちしています!

〈必要事項〉
①お名前 ②年齢(任意) ③性別
④空手歴(流派、会派、経験、段位など)

〈みなさまからの声〉
・「かぐや」を読んでいかがでしたか。
・今後、どのような記事が読みたいですか。
・空手道に関して知りたいことがあればお知らせください。

〈メールアドレス〉
s-kusaka@extra.ocn.ne.jp

になってしまいがちです。そこで、今年度六段位に合格された大手信子さん、七段位をお持ちの新井法正さんと、群馬県の仲間同士で練習会をしたこともありました。

他には、スポーツジムに通って、体幹トレーニングやストレッチ、筋力や心肺機能を高めるトレーニングは1日1時間程度やりました。

——現役時代は、形でナショナルチームに入っていたとお聞きしました。

田島 現役時代、目標だった国体出場



田島さん(右から3番目)の道場は、女性が元気！現役選手、資格取得、審判員…活躍の場を広げている。



八幡少年空手道教室のみなさん。



夫・定雄さんと。中央の花は、七段合格のお祝いに道場生からプレゼントされた宝物。

が叶い、やがてナショナルチームに入ると、「1回だけいいから世界大会に出たい」という気持ちを持つようになりました。ちょうどその頃、結婚の話が進んでいたのですが、当時、主人は「女性は家のことだけを考えてほしい」という考えを持っていました。

二人で私の両親に挨拶をしたときに、私が「世界大会に出たら結婚する。ダメだと言われたら、別れます」と宣言して、周りを驚かせたものでした。父に説得され、主人と直談判をして：うまくまとまりましたが(笑)。そうして結

婚の準備も平行しながら、世界大会に出場したんです。

——最後に、これからの目標をお聞かせください。

田島 週3回、地域の体育館で50人くらいの生徒を指導しています。普段は私だけですが、月2回の組手強化練習では、主人が協力してくれています。

今年、中学生の生徒3人が、「はまなす杯」に出られることになりました。幼児の頃から頑張ってきた子たちです。彼らに全国で通用する力をつけてあげたい、というのが今の目標ですね。

また、大人の道場生が、生き甲斐として空手を楽しんでくれるようにしたいです。群馬県空手道連盟でも「女性委員会」を作り、女性会員同士の交流が始まりました。ゆくゆくは女性だけの審判講習会なども開いていきたいと考えています。

田島節子さん

1959年1月9日、東京都出身。群馬県空手道連盟所属、八幡少年空手道教室を主宰。高校2年生で空手道を始め、26歳まで競技大会で活躍。ご主人は世界チャンピオンの田島定雄さん。10年程前から小学校で「教科指導助手」の仕事に就いている。全空連練士七段、全国組手審判員、地区形審判員、日体協コーチ

1982年 鳥取国体で第4位
1983年 アジア大会で準優勝
1984年 第7回世界大会準優勝。結婚し、群馬へ
1985年 島根国体で第3位。ワールドゲームズ出場、第3位
1986年 第1子出産
1990年 第2子出産
1993年ころから地域で空手を教え始める

が後に続きやすいかもしれません。そんな期待も持っています。

——最後に、これからの目標をお聞かせください。

馬場 今は空手をする環境にとっても恵まれています。部活動では、保護者の方々をはじめ周りの理解があつて、ここまで指導を続けられています。おかげさまで「空手道部に入りたから」と入学してくれる子も出てきました。部員たちが楽しく空手を続け、「この学校で良かった」と言つて卒業してくれるように指導していきたいですね。

我が子が大きくなつたら、審判員やスポーツ指導員の資格取得にもチャレンジしていきたいです。指導している生徒がいますので、私自身が勉強することをやめてはいけませんよ。

そして、道場の先生にもっともっと空手を習い、成長していきたいと思っています。

馬場朝子さん

1970年8月30日、千葉県出身。千葉県空手道連盟所属、全日本空手道剛柔会。中学生から地域の道場で空手を始め、学生連盟の大会、国体や実業団大会等で活躍。千葉県空手道連盟 競技力向上委員会委員。秀明八千代中学校・高校空手道部コーチ 全空連六段、日体協指導員

1993年 剛柔会世界大会優勝(組手)
1995~1997年 国体出場
1995・1999・2007年 剛柔会アジア大会優勝(形・組手)
1996年 全日本実業団大会第3位(形)
1997・1998・2000年 東日本実業団大会で優勝(形)
1998年 国体出場、結婚
2001年 第1子出産
2005年 剛柔会世界大会で優勝(形)
2010年 第2子出産

●六段位合格 馬場朝子さん

馬場朝子さんは道場で空手を始め、県連、実業団、会派の大会などで活躍してきました。10年ほど前から千葉県空手道連盟と秀明八千代中学校・高校空手道部で形の指導にあたつていて、高校からは全国大会のメダリストも輩出しました。指導者として実績を残す一方、「まだ引退したつもりはありません!」とも。現在小学5年生と2歳のお子さんがいいますが、育児がひと段落したら再びコートで闘う姿が見られることでしょう。

——合格おめでとございます。審査会までどのような準備をしたのですか。

馬場 六段位は3回目の挑戦で合格しました。1回目は、きちんとした覚悟も心構えもなく、心身ともに準備不足だったと思います。2回目は、春に産んで7~8ヶ月後の受審で、コンディションが万全ではないのに、焦つて受けた部分がありました。今回は、生徒に教える機会が増えたこともあり、いろいろな角度から技について考えるようになったのが良かったのかもしれない。同じ伝え方でも分かる子と分からない子がいて、「どうすれば伝わるかな?」と、技に対する考え方が変わってきました。

もともと、本番を楽しめるタイプです。審査当日も不安はなくて、いい緊張感を持っていました。実技試験のウォーミングアップはストレッチから始め、疲

●まとめ

お二人に共通していると感じたのは、毎日コツコツと努力し続けていることと、パワフルさです。田島さんも、馬場さんも、道場や部活動の指導、家事に育児をこなし、限られた時間の中でつねに挑戦を続けていると感じました。

そして「空手が好き!」という気持ちが強くなるにつれて、六段位受審には五段位取得から5年以上、七段位には六段位取得から6年以上の修業年数が必要です。これらは気の遠くなるような年月ですが、空手が好きだからこそ、日々の地道な努力を続け、合格という結果を手に入れています。その姿を見てみると、自然と「勇氣」や「やる気」が湧いてきます。



生徒を教える時間が増えて「技に対する考え方が変わった」と馬場さん。



秀明八千代中学校・高校空手道部のみなさん。馬場さんは夫婦で指導。

れてしまわないよう、本番をイメージしながら軽く身体を動かしました。

——六段位合格までに苦勞されたことは何でしょうか。

馬場 やはり練習時間の確保でしょうか。朝から子どもを預けなくてはならないこともあり、夫の協力なしには合格できなかったと思います。

小さい子どもがいますので、審査のために特別な練習時間を作ることが難しかったです。部活動を指導しながら、生徒に混じつて通し練習をしたり、自宅で子どもが寝た隙に、食器棚のガラスを鏡の代わりにして部分練習をしたり。

筆記試験のために、とにかく覚えたいことを紙に書いて暗記しました。が、勉強しようとして教本やノートを広げると、下の子が一緒に遊び出してしま

ます(笑)。これも、子どもが寝たのを見計らつて、小さい手帳に繰り返し書きました。学生のように試験勉強をする習慣がないですから、暗記もひと苦勞! 審査当日、会場に向かう電車の中でも、ひたすら手帳に書き続けていました。

2回目の受審は子どもを産んだ年でしたが、産後の体力は、出産前と比べて「マイナス」になります。スタミナも落ちますし、2~3週間は外出もできず、腹筋が1回もできないような状態からの復帰でした。

それでも、空手が好きなので、続けられるんです。仕事、結婚、出産と、やめる理由はいくらでもありましたが、続けているのは好きだからです。辛い思いをし、泣いたこともありましたが、仕事をしても結婚しても母になっても空手を続けている女性がいたら、他の女性たち



六・七段位の受審には、次の条件を満たしている必要があります。昇段審査は年月をかけてチャレンジしていくもの。まさにコツコツと積み重ねた努力が実を結ぶのでしょう。

公認六段位 ①五段位取得後5年以上経過していること。
②満36歳以上の者。

公認七段位 ①六段位取得後6年以上経過していること。
②満43歳以上の者。

①昨年行なわれたWKF世界大会にはIOC委員が視察に訪れていた。オリンピックに劣らない大会運営で、好印象を残した
 ②2013年1月、記者会見にて話すエスピノス会長
 ③会見に集まった報道陣



表	野球	ゴルフ	空手	ローラースケート	ラグビー	ソフトボール	スカッシュ	備考
1回目	2	1	3	0	7	1	0	0票の2競技はいったん除外。
2回目	1	1	1	-	9	2	-	ラグビー当選。ラグビー以外で再投票。
3回目	2	3	5	1	-	2	1	1票獲得の2競技のみで最下位決定の投票。
4回目	-	-	-	4	-	-	10	ローラースケートの落選決定。
5回目	2	6	4	-	-	2	0	スカッシュの落選決定。
6回目	1	7	4	-	-	2	-	野球の落選決定。
7回目	-	9	3	-	-	2	-	ゴルフの当選決定。

2009年IOC総会での投票結果。得票数14、過半数8を獲得した競技が当選。8票に届く競技がなければ投票を繰り返し、最下位競技を除外



下村文科相(中央)を訪問しオリンピックへの熱意を伝えたエスピノス会長と全空連役員

空手道、目指せ オリンピック!!



今年は、国際オリンピック委員会 (IOC) 総会にてオリンピック種目が見直される年。空手界にとって2005年、2009年に続く3度目のチャレンジとなりますが、正式種目入りに向けた活動は過去最高の盛り上がりを見せており、注目が集まっています。

夢の2020年へ

空手界は今、オリンピック正式種目採用を目指し、世界各国の連盟が一丸となっていてます。「これまで以上に気運の高まりを感じている」と世界空手連盟(WKF)のアントニオ・エスピノス会長も述べています。もし、悲願達成となれば、2020年オリンピックから正式種目入りが見えます。オリンピック、パラリンピックの東京招致活動とも連動し、PR活動は高まりを見せています。

エスピノス会長の来日

1月、WKFのエスピノス会長が来日し、全日本空手道連盟の笹川会長らとともに下村博文・文科科学大臣を表彰訪問しました。さらに翌日には全空連にて記者会見を開き、報道約20社に向けて空手道の現状やオリンピック正式種目入りへの構想についてプレゼンテーションしました。

今、空手道は世界中に広がり、競技人口は5000万人と言われています。世界185の国と地域に空手道連盟があり、WKFに加盟しています。そして、WKFはIOCの認可団体です。

2回の落選

オリンピック正式種目に入ること、空手界が永年描いてきた夢でした。しかし、直近2回の選考では、当選した2種目の次点という惜しい結果で落選しています。2005年のIOC総会(シンガポール)では、空手とスカッシュが新種目の候補

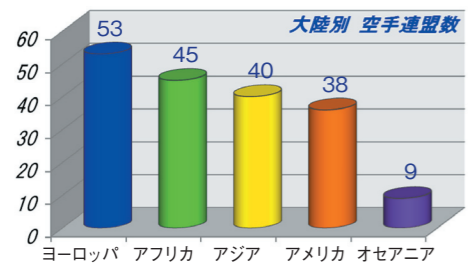
先般のエスピノス会長来日も、空手母国「日本」からの情報発信にこだわったこと。全空連では、オリンピックの東京招致活動へ全力で協力する姿勢をとり、WKFとの連携を密にし、活動を続けています。東京でオリンピックが開かれ、空手道が競技されるかもしれない。8年後、そう遠くない未来の夢に向かって、世界が一つになり、突き進んでいます。最終決定は9月7日です。ぜひ、みなさんもオリンピックの東京招致、空手道の正式種目化を応援してください!

球、ソフトボール、ローラースケート、スカッシュ、ウェークボード、太極拳、スポーツクライミング)の計9競技から、正式種目候補1競技を決めます。そして、9月7日、アルゼンチンのブエノスアイレスで行なわれるIOC総会において、候補の1競技を新種目に追加するか否かの投票が行なわれるのです。

The K is on the way

WKFは、2012年から「The K (空手) is on the way」と名付けたキャンペーンを世界的に進めています。オリンピックへ向け、空手界で意識を共有しようとする動きです。直訳すると「K (空手) はその道の上にある」となりますが、まさにオリンピックへ続く長い道のりに立ち、幾度も選考を経てゴールにたどりつくのだという意志を感じます。

キャンペーンの一環で、2012年10月7日は「Kデー」と称したイベントが開催されました。世界中の空手愛好家やファンが「The K」のフェイスブックにアクセスし、数千もの空手道関係の写真や動画を投稿しました。こうして国籍、人種、



WKF発表、大陸別の空手道連盟数。空手道人気は日本やヨーロッパにとどまらず、アフリカ地域やアジア全土、南北アメリカ...世界中に及ぶ。

輝く女性審判員

— 全国組手審判員Aランク
アジア空手道連盟レフリーB

三鶯 ^{みつはし}直子 ^{なおこ}さん (千葉県)

毎年12月に開催される全日本空手道選手権大会では、日本武道館に特設コートが設置されます。誰もが憧れるその舞台へ、階段を一段、一段踏みしめて入場する女性がいいます。
今回「クロースアップ」コーナーでは、全国審判員・アジア審判員の資格を持つ三鶯直子さん取材し、空手道との関わり方、審判員として心がけていることをお聞きしました。



全日本空手道選手権大会にて、主審を務める三鶯さん。

空手道との出会い

三鶯さんは、千葉県下でも学力トップの進学校、渋谷教育学園幕張中学校・高校の職員として働いています。自身が幕張高校の1期生であり、空手道部の卒業生です。

中学生まで「バスケット小僧」だったという三鶯さん。高校でもバスケットボール部に入部したものの、放課後、体育館に向かう途中で空手道部の道場を通りかかると、きまって大きな声がかかってくる。部員たちは全員が白帯だけれど、顧問の先生まで一緒に身体を動かし、汗だくになって稽古している……。その「熱い空気」に惹かれたそうです。

三鶯さんはバスケットボール部に退部届けを出し、高校2年生から正式に空手道部員となります。当時の顧問・恩師である大竹則雄先生の意向で、創部から数年間は大会に出場せず、基本を徹底的に稽古していました。高校卒業後は東京都内の道場に通いながら競技大会にも出場、実業団や会派の全国大会で数々の優勝を飾ったほか、1993年と1997年にはワールドカップ空手道大会に出場し、表彰台に昇っています。

部活動がきっかけの審判員デビュー

大学卒業後、母校に就職が叶い、空手道部で指導を始めます。監督として教え子の全国大会優勝にも立ち

会いました。やがて大竹先生の転勤を機に、その仕事を引継ぐように、審判員も始めました。

「まず千葉県で審判員資格を取り、次は地区審判。その次には全国審判員があることを知り、審査を受けました。さらに全国審判員にも「ランク」があることを知って……目の前に次の目標があるから、一つずつ歩いてきたという感じですね」

2004年に全国組手審判員、2009年にAランクを取得。同年、新潟国体で初めて国体審判員となり、全日本空手道選手権大会の舞台も踏みます。2010年からはアジア審判員にも挑戦、現在レフリーBを取得。今では国体や全日本大会など一流の競技大会で堂々たる審判ぶりを見せています。

「縮小版ルールブック」を携帯

そんな三鶯さん、審判中は、必ずルールブック(競技規定を縮小コピーした冊子を持ち歩いているそうです。「私にはお守りのようなものです(笑)。審判をしていて疑問に思った時に答えをもらえますから」。試合が流れていく中で、起こる出来事は「バズル」のような状態。その事例は、ルールブックではどの部分に当てはまるのか、そしてどう判定を下すのか、答えを探していくのです。

予測が難しいもの。過去に見たこともない事例が目の前で起こり、頭が真っ白になった経験がある人も少なくないのではないのでしょうか。

その出来事すべてが「活きた教材ですよね」と三鶯さんは言います。「どんなことでも、一度経験してしまえば、次は対処できるようになります。数をこなさなければ、審判員は務まらないんだなあ、とつねづね実感します。いくつの修羅場を越えていけるかですね」

勉強する機会には豊富にあるもの。「幸いなことに、大きな大会では経験豊富なベテランの先生方が審判している姿を近くで見ることがあります」。ベテラン審判員の判定から学び取り、迷ったらルールブックに立ち返る。三鶯さんの丁寧なスタイルは、高校時代に恩師から徹底して指導された、「基本の積み重ね」に、どこか共通しています。

これからも「いっしょ」

選手や監督をしていたときの目標であった「日本武道館の舞台、全日本大会のコート」。再び審判員として上がってみると、まぶしいスポットライトと、360度から注目する観客の視線に、心が怯みそうになることも。

「でも、コートに上がったなら、やるしかないんですよ」
係員の力強い声で選手名を読み上げる頃には、他の審判員とともに定位置で姿勢を正しながら、三鶯さんの心は

「戦闘態勢」に入ります。重圧に潰れずに競技場に入っていく勇氣と、それでいながら一歩引いて試合を見られる冷静さ。選手の気持ちも、教え子を見守る監督の気持ちも何度も経験しています。言葉に出すことはないけれど、この一戦にすべてを懸けてきた赤と青の両選手に対して「お互い、いい試合をしよう！」と思う気持ちが、三鶯さんのパフォーマンスを最大限に引き出します。「選手側とジャッジする側の呼吸や空気が同じ流れだと、試合が引き締まる気がして……」
審判員としての次なる目標を聞くとき、これまでのスタイルを変えることなく「目の前の『山』を一つひとつクリアすること」と三鶯さん。まずは平成25年4月、資格更新のための全国審判員審査会があります。「資格の更新があるからこそ、『復習、予習、実践』のサイクルでやっていけるのだらうと思います」

* * *

平成24年12月の「第40回全日本空手道選手権大会」では、審判員全50名のうち6名が女性でした。活躍する女性審判員や、それを目指す女性は着実に増えています。三鶯さんが競技場の内外で見せる凛々しい姿には、多くの女性、そして男性も共感し、勇氣をもらおうのではないのでしょうか。

〈プロフィール〉

三鶯 直子(みつはし・なおこ)
千葉県出身。渋谷教育学園幕張高校、日本女子体育大学卒業。
渋谷教育学園幕張中学校・高校職員。
高校2年生で空手道を始め、日本空手協会(JKA)や実業団で活躍。
卒業後、母校(勤務先)空手道部で指導者となり、インターハイ優勝、国体での形・組手同時優勝に立ち会う。

〈おもな競技成績・国内大会〉※組手
東日本実業団大会 優勝4回
全日本実業団大会 準優勝1回
日本空手協会全国大会 優勝2回

〈おもな競技成績・国際大会〉※組手
1993年 第5回ワールドカップ
第5位(アルゼンチン)
1997年 第6回ワールドカップ
準優勝(フィリピン)

〈審判歴〉

2000年 審判員を始める
2004年 全国組手審判員
2009年 全国組手審判員Aランク
2009年 国体、全日本大会、インターハイに初参加
2012年 AKFレフリーB
全日本大会、国体、インターハイ、全中、全少、実業団で審判。「学連以外は審判員の経験あり」という幅広い経験の持ち主!

〈資格〉

公認六段、練士
全国組手審判員、地区形審判員
日体協公認空手道上級コーチ



1997年、ワールドカップ(フィリピン)で準優勝。現地の写真業者が雑誌風に加工した、面白い記念写真を見せていただいた。



ルールブックを購入すると全ページを縮小コピーし、持ち歩いている。また、手帳に気づいたことや講習会で習ったことを書き込んでいるとか。



仕事を終えると空手道部の指導へ。基本的に重きを置く指導は、恩師から受け継いだもの。



渋谷教育学園幕張中学校・高校空手道部の部員たちと。

データで見る空手道の資格

公認段位・公認称号・公認審判員・スポーツ指導者
取得者数と男女比

空手道にはさまざまな資格がありますが、取得者数のデータをもとに、現在の空手界の状況を見てみましょう。今回は公認段位・公認称号・公認審判員・日体協公認スポーツ指導者の4つを掲載します。

女性会員は2割弱

全空連の会員は、2013年1月末現在80,233人います。少年会員を除く満16歳以上の会員は、21,471人で、男性が82%を占めています(表1)。

この傾向は、他の資格の取得状況にも共通しています。公認段位取得者数を見てみましょう(表2)。公認四段のみ、全取得者に占める女性の割合(%)が2桁となっていますが、五段以上は1桁。現在、八段以上を持つ女性はいません。八段は取得者数自体が58名しかいない資格ですから、初の女性八段が誕生する日が待ち遠しいですね。

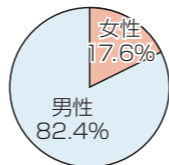
表3の公認称号、表4の全空連公認審判員についても男性の割合が圧倒的に多くなっています。続いて表5は公益財団法人 日本

体育協会が認定している資格「公認スポーツ指導者」です。こちらも女性の資格取得者は少数です。

しかし、空手道で「スポーツ指導者」を取得している人数は他種目に比べて多く、資格取得に対する関心の高さがうかがえます。2012年10月の時点では、「スポーツ指導者」各資格(指導員・上級コーチ)の合計人数が空手道は3,900で、現代9武道の中ではトップとなっています。また、全種目中でも8位と高い数字を記録しています。

【表1】全空連会員数(少年会員を除く)

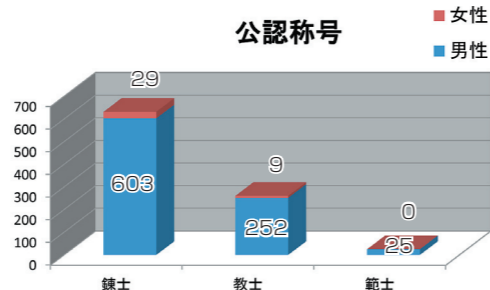
合計人数	21,471	
性別	男性	女性
男女別	17,691	3,780
%	82.4%	17.6%



※表1～表4のデータは、全日本空手道連盟のまとめによる(2013年1月31日現在)

【表3】全空連「公認称号」取得者

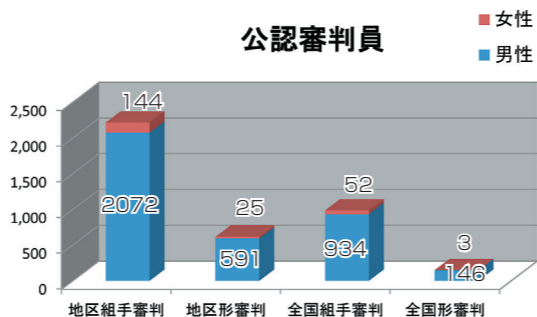
種別	公認称号					
	錬士		教士		範士	
合計人数	632		261		25	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性
男女別	603	29	252	9	25	0
%	95.4%	4.6%	96.6%	3.4%	100.0%	0.0%



「公認称号」には、取得できる順に錬士・教士・範士の3種類があります。取得者については、いずれも女性は全体の5%以下にとどまっています。称号の申請には他の資格取得も必要なので、段位や審判員取得者数を投影していると思われます。

【表4】全空連「公認審判員」取得者

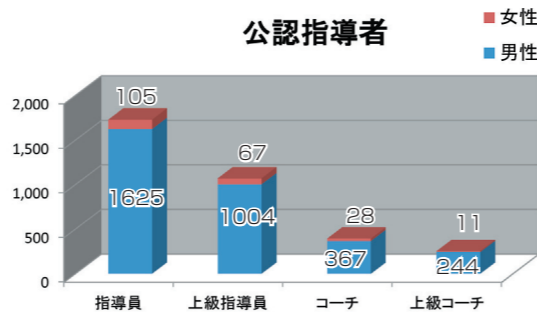
種別	公認地区審判員				公認全国審判員			
	地区組手審判員		地区形審判員		全国組手審判員		全国形審判員	
合計人数	2,216		616		986		149	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
男女別	2,072	144	591	25	934	52	146	3
%	93.5%	6.5%	95.9%	4.1%	94.7%	5.3%	98.0%	2.0%



全空連審判員には都道府県、地区、全国の3段階があり、それぞれにランクがあります。表4では「地区審判員」以上の資格についてまとめました。ここでも女性は少数派ですが、全国審判員の資格を持つ女性延べ55名の活躍に、次の世代の女性たちが続くことが期待されます。

【表5】日体協「公認スポーツ指導者」取得者

種別	公認スポーツ指導者(空手道)							
	指導員		上級指導員		コーチ		上級コーチ	
合計人数	1,730		1,071		395		255	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
男女別	1,625	105	1,004	67	367	28	244	11
%	93.9%	6.1%	93.7%	6.3%	92.9%	7.1%	95.7%	4.3%



公認スポーツ指導者資格保有者(指導員～上級コーチ)は、日体協による種目別のまとめによると(2012年10月時点)空手道3,900名。現代9武道では、弓道3,601人、なぎなた1,299人、剣道1,270人、柔道590人、相撲163人と続きます。全体の64種目中でも空手道は8位です。

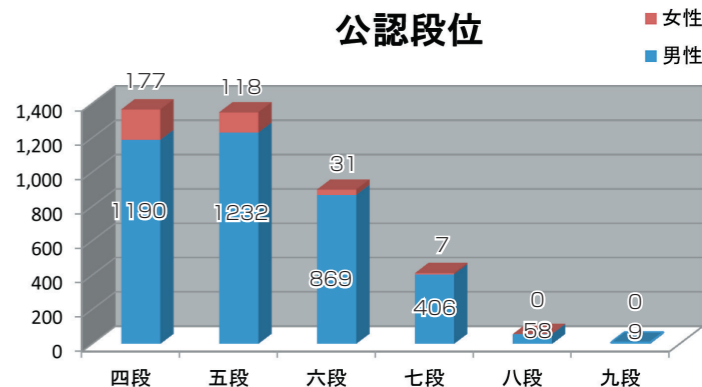
※「日本体育協会公認スポーツ指導者登録状況」(2012年10月現在)日本体育協会ホームページ参照

【表2】全空連「公認段位」取得者(推薦段位を除く)

種別	公認段位											
	四段		五段		六段		七段		八段		九段	
合計人数	1,367		1,350		900		413		58		9	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
男女別	1,190	177	1,232	118	869	31	406	7	58	0	9	0
%	87.1%	12.9%	91.3%	8.7%	96.6%	3.4%	95.7%	4.3%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%

公認四段以上についてまとめました。四段の受験資格は満23才以上ですので、表2に記載されている人はいずれも満23才以上の会員となります。四段、五段では女性が100名をこえています。六段以上ではぐっと減ります。これは男性についても言えることで、高段位と呼ばれる六段以上の難易度の高さを示しています。合格者に占める女性の割合は、全空連会員(少年を除く)における女性の割合と無関係ではないでしょう。

公認段位



歴史に残る 女性空手家 松村ツル



松村ツルと思われる写真。力試しに使われる大きな「力石」を持ち上げるなど強い力の持ち主だったと言われています。

今、多くの女性が空手を行っています。年齢を問わず、子供から大人まで実に多くの女性達が空手着を身にまとい、稽古に励んでいます。さまざまな試合に出場したり、段審査にも積極的にチャレンジしていますが、ここ数年は女性審判の数も年々増えています。単に人数が増えているのではなく、その技術も非常に高くなっています。

女性はいつから空手を？

今や空手は男性だけのものではなく、女性にとっても魅力ある武道でもあり、スポーツでもあります。全空連でも、女性のための情報誌「かぐや」を発行し、すべての女性会員の方に配布するなど、近年の変化は目覚ましいものがあります。

ところで、実際に女性が空手をすることになったのは、ここ数十年のことなのでしょう。1974年(昭和49年)の第1回全国高等学校空手道選手権大会(現在のインターハイ)では女子の個人形が、そして、1981年(昭和56年)の滋賀国体において空手道競技が正式に採用された時には、成年と少年の女子

形の試合が行われました。学生連盟で初めて女子の試合が始まったのは、1983年(昭和58年)。第27回全日本学生空手道選手権大会の個人「形」試合でした。また、「組手」試合に関しては、1988年(昭和63年)になって初めて行われました。空手競技としては、女性が試合に出場するようになってまだ40年ほどですが、歴史を紐解いてみると、女性の空手家は意外と古くから存在しています。

首里手の祖 松村宗昆(宗棍)

首里手(※1)の祖と呼ばれている松村宗昆(1807-1899、多説あり)は、首里・山川村で生まれました。明治時代に沖縄の三大拳

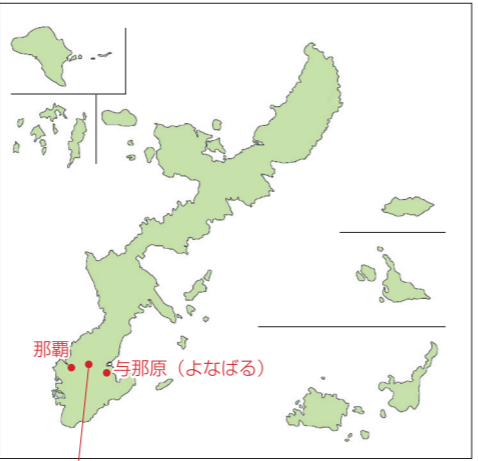
しに用いられる大きな石)を持ち上げるなど、男顔負けの剛力の女武士でした。

腕に自信がある多くの男性唐手家(空手家)を相手に「掛け試し」(武術に自信のある者が己の力を知るために他流試合を行うこと)と称する立ち会いに応じましたが、一度として負けたことがなかったという凄腕の女性です。「与那原武士のツル」と言われ、その名は首里中に広がっていたようです。ツルには多くの武勇伝がありましたが、身長が160センチを超え、稀に見る美人だったと言われています。

このツルの噂は、やがて首里の松村宗昆にも伝わり、宗昆の手ほどきを受け、やがて二人は結婚したという話が人々に伝わっています。

ある日、ほかふりした強い空手家が現れ、股間を蹴られても倒れないという噂が広がり、それでは胸を突いたらとアドバイスをしたところ、胸を突かれて倒れたという話もありました。これは正に「女性空手家ツル」であったのかもしれないと言いつづられています。

松村ツルの年代は不詳ですが、宗昆と同年代であったのかもしれない。二人が出会ったのは、お互いに10歳代半ばから後半だったようで、宗昆との「掛け試し」をしたようですが、



首里城(写真は守礼門) この周辺地域で発達した唐手が首里手と呼ばれています。



松村ツルの生没年は分かっていません。数百年以上も前、沖縄の海辺や村々で、女性達が空手をしていただろうか…?

聖として知られる武人の一人で、首里手の松村宗昆、那覇手(※1)の東因納寛量、そして泊手(※1)には松茂良興作がいました。

宗昆は天性の武術の才能があり、17〜18歳の頃には、すでにその武名は首里城下では知らない者はいないほどの空手家でした。宗昆は力も大変強く、動きも非常に敏捷、性格も武士気質であったようです。また足技が非常に得意であったらしく、同輩に後ろから羽交い絞めにされて両

手の自由を奪われても、左右の足で後ろの相手を蹴り倒すことができたと言われています。松濤館の開祖、船越義珍の師である安里安恒や糸洲安恒は松村宗昆に師事しました。

与那原の女武士 松村ツル

沖縄の与那原というところに、ツルという女性がいました。ツルは幼少の頃から体つきも良く、遊び相手も男性の友達が多く、「力石」(力試

その結果がどうであったのかはわかりません。数々の男性空手家との試合に勝ってきたツルですが、唯一、宗昆だけは歯が立たなかったのかもしれない。

※1 那覇手・首里手・泊手…琉球では唐手が盛んだった地域の名称から、那覇手、首里手、泊手と大別。

参考文献：
「かぐや」(女性のための空手道情報誌) 2010年秋号(Vol.10) 全空連発行
「あゆみ」(中学生のための空手道情報誌) 第2号 全空連発行
「沖縄空手道の歴史」 新垣 清著
「沖縄空手古武道辞典」 高宮城繁・新里勝彦・仲本政博編著
「沖縄空手列伝百人」 外間哲弘著



今や女性にとっても魅力的な武道・スポーツとなった空手道。レベルアップ著しい。(写真は2012年世界大会で優勝した、女子団体形日本チーム)

未来の全空連が こうなったらいいなあ

in 2013

かぐやスタッフが集まり、全空連の未来について「こうなったらいいなあ、ああなったらいいなあ」と、ざっくばらんに語ってみました。



島田 博江 (埼玉県) 公認六段位・日体協公認空手道コーチ
喜島 智香子 (東日本実業団空手道連盟) 公認六段位・日体協公認空手道上級コーチ
三村 由紀 (防衛大学校) 公認六段位・アスレティックトレーナー
小日向 藍菜 (空手道マガジン月刊 JKFan) 公認三段位

中学校武道必修化をきっかけに 空手道のイメージアップを

喜島 久しぶりの座談会ですね。今日はこれからの空手や、全空連に期待することを話していきますよ。

先日、女子中学校で空手の授業を見る機会がありました。保健体育科の先生は初心者ですが、とても熱心。外部指導者と一緒に授業をされています。そこで気になったのは、もうちょっと細かく技術指導ができないのかな、という点です。

小日向 空手を長年やっている私たちから見ると、「最低限これくらいは技術を教えてあげたい！」という気持ちになっただけです。

三村 中学校の授業にとどまらず、大学まで求めるかですね。私は普段、大学の授業で空手を教えていますが、学校の特色もあり、分解まで教えています。しっかりと狙って突いたり、相手の突きを正確に受けることを要求しますので、それなりのかたちにはなります。

喜島 中学校は授業時間も50分と短かいですものね。ただ、嬉しかったのは、その学校ではとても真剣に取り組まれている、武道の導入にあたり、あらゆる種目を調査した結果、空手を選んでくださったことです。

空手が「安全だ」と評価されたということですし、生徒の中には、空手を習っている兄弟や友達に教えてもらって、授業で上手にできるよう努力している子もいました。

島田 私は国体や全日本大会の審判に入っていますが、年々、女性の審判員が増えてきて嬉しいかぎりです。

喜島 審判員、公認段位など、女性の合格者が増えている。つまり、チャンピオンが増えているのでしょね。

三村 「かぐや」では、審判員や段位取得者の数を初公開しましたよね。これも、編集スタッフの「女性パワー」だったと思うんです。各種データの公開は、私の周りでも好評です。

島田 時間をかけて準備し、何度目かの挑戦で公認六段位に受かった女性もいます。チャレンジし続けることによって、ものすごくエネルギーが要りますし、なかなか簡単にできるものではないですね。

小日向 日体協スポーツ指導者資格の

島田 空手を気に入ってくれた生徒さんもいたんですね！
喜島 空手を知らない先生方や保護者は、みなさん「空手＝瓦を割る」と思っていますよね(笑)。ですから、こういう中学校が増えてくれると、空手のイメージが変わっていくのではないかと思います。社会で正しく理解されれば、導入校も増えるでしょうね。

**ドクターやトレーナーの
ワーキンググループを作れたら**

三村 スポーツトレーナーなど、空手のために働きたいという方々に対して、集う場ができるとうれしいですね。

喜島 医科歯科大学のリーグ戦があるほどですから、全空連会員で、ドクター、ナース、薬剤師といった職に就いている方が多くいるはず。そういう方々とネットワークを築いておくことで、たとえば大会ドクターを探すにも役立つのではないのでしょうか。

三村 トレーナーももしかだと思いません！ トレーナー同士が勉強する場所や、ドクター同士で情報交換をする場所ができたらいでしょうね。

喜島 キーパーソンとなる人を作って、組織化してほしいですし、全空連会員ではないドクターやトレーナーから知恵を借りることもできるでしょう。

平成24年度から全空連は「公益財団法人」になりました。つまり、空手界に限らず、**広く社会に利益を還元して**

女性や若手の チャレンジが目覚ましい！

島田 私は国体や全日本大会の審判に入っていますが、年々、女性の審判員が増えてきて嬉しいかぎりです。

喜島 審判員、公認段位など、女性の合格者が増えている。つまり、チャンピオンが増えているのでしょね。

三村 「かぐや」では、審判員や段位取得者の数を初公開しましたよね。これも、編集スタッフの「女性パワー」だったと思うんです。各種データの公開は、私の周りでも好評です。

島田 時間をかけて準備し、何度目かの挑戦で公認六段位に受かった女性もいます。チャレンジし続けることによって、ものすごくエネルギーが要りますし、なかなか簡単にできるものではないですね。

小日向 日体協スポーツ指導者資格の

編集後記

2年ぶりに「かぐや」が戻ってきました。いろいろな方からお問い合わせがりましたが、実は中学校の武道必修化に伴って全空連が発行している「あゆみ」に力を注いでいたというのが本当の理由です。両方とも私たちが手掛けています。是非、全空連のウェブサイト「かぐや」「あゆみ」共にお読みください。(CK)



「かぐや座談会」では、ジュニアの競技力向上と、燃え尽き症候群の話もしました。若い選手のみならず、いつか空手を辞めたとしても、空手で学んだことを他分野で活かしてほしいなと思います。

一方で、大人になってから何かのきっかけで空手を始め、日本スポーツマスターズなどで活躍されている方々もいます。本当に素晴らしいと思います！

今年も多くの方が、生涯武道「空手道」に親しんでくれますように！(YM)

ぎふ清流国体に向けて創部された西濃運輸空手道部は、正式な部として今後も継続が決定！平成25年1月8日に新体制でスタートいたしました！初稽古では、まず西濃運輸構内にある成田山にて必勝祈願。福寿草精神で、これからも挑戦し続けます！！「踏まれても、踏まれても、強く野に咲く福寿草」(AW)



2013年、新たな年がスタートしました。

気分もリフレッシュ、目的意識をもって頑張ります。

みなさまには、大会や講習会などお会いする機会が多々あると思いますので、公私ともによりしくお願いします。

ただいま新ルール猛勉強中です！(HS)

いくと いう使命を背負っています。
小日向 空手以外の人から恩恵を受けるだけでなく、空手を通じて世の中に恩返しをしていくのですね。
**空手で恩返し
空手で国際人を育てる**
三村 空手道に関する「学術研究」も進んでいくと良いですね。とくに**試合に対するデータ分析**。競技力向上のための、アナリストが育ってほしいですね。
島田 「アナリスト」と言いますが、海外のチームはどうなんですか？
小日向 国際大会では、データ分析の専門家を連れてきている国もあります。
喜島 その国の空手道連盟が、組織として契約しているんでしょうね。すると財務の話になりますが、空手道経験者の、あるいは空手道を愛する企業家



の方もいらっしゃると思いますから、お願いして、支援を受けられるようにすると良いですね。
三村 そうですね。選手強化費としてアナリストとの契約金が認められるような日が来ると良いですし、将来、日本代表選手が海外で戦うための英語教育などに使うのも案外と思います。
喜島 英語教育、たしかにサッカーなどでは実施していますね。
三村 私がナショナルチームにいた時、「マナー講習」を受けたことがあります。強化合宿の練習後に正装に着替え、洋食レストランへ行き、テーブルマナーを習ったんです。
小日向 空手選手として、海外に出ても恥ずかしくない社会人・国際人を育てるという発想ですね。
喜島 ナショナルチーム選手が世界に出ていくわけですから、マナーも知識も、堂々たる姿を見せてほしいですね。

制度が変わって、世界チャンピオンや日本代表として活躍した、20代や30代前半の人たちが資格にチャレンジしていますよね。これも、素晴らしい！
三村 その方々には、ぜひ次の世代に恩恵をもたらしてほしいですね。
喜島 まだまだ話し足りませんが、「かぐや」や中学校武道の情報誌「あゆみ」の発行は今までもない取り組みだったと思いますし、それを任せていただいたことは光栄なことだと思います。
三村 今年4月から競技規定も変わりますし、また新しい時代が来ますね。
喜島 いろいろな意味で**世界に先駆ける全空連**になってほしいですね。競技力向上でも、組織運営でも良いので、日本初、日本発のものがあれば「さすが日本はすごいな」と評価されて、リーダーシップを取って行けるのではないのでしょうか。



空手道、目指せオリンピック!!



KARATE
2020

KARATE
2020



KARATE
2020



KARATE
2020



KARATE
2020